

東信州DX大学開講キックオフ

DXセミナー「ChatGPT の活用を考える」

2023

7/7 Fri

14:00~16:00

- 第一部では、東信州DX大学について、ARECを実施主体として今年度から事業を開始することから、当該事業及びコーディネータ陣を紹介するキックオフを開催。
- 第二部では、DXセミナーとして、「ChatGPT」を題材に、登壇者・参加者、皆で考えるディスカッションセミナーを開催。

終了後、会場にて簡単な交流会を予定しております。
デジタル関係の人脈を広げるためにも、ぜひ会場にてご参加ください。

■開講趣旨

私たちの身の周りでは、デジタル技術が急速に身近に普及してきています。その中で、業務でデジタル技術を活用して付加価値を高めることが、これから企業が生き残るうえで急務と言えます。デジタル技術を適切に活用するには、利用する側もデジタル技術に関する知識が必要です。しかし、上田地域にはデジタル技術について本格的に学べる場所が少なく、デジタル技術に詳しい人材も地域では不足しています。

そこで今回、「東信州DX大学」として、デジタル技術の全般を学ぶことができる仕組みを作りました。当地域の若手社員向けから経営者クラスを対象に、デジタルの基礎技術からデジタルを活用したビジネスの変革まで、「プログラミング基礎講座」、「デジタル化の基礎となるICTまると理解講座」、「情報セキュリティ講座」、「営業DX講座」、「バックオフィス講座」などの講座を実施してまいります。

デジタル技術について理解を深めるとともに、デジタル技術に関する人脈作りにも役立てていただければ幸いです。

第一部 14:00~15:00

東信州DX大学 開講キックオフ

第二部 15:15~16:00

DXセミナー
「ChatGPTの活用を考える」

ハイブリッド開催

会場：AREC4F会議室+Zoomオンライン（上田市常田3-15-1信州大学繊維学部内）

定員：会場40名、Zoom80名

対象：企業の経営層、管理者層、リーダー層など、どなたでも参加できます。

- お申込 フォーム <https://forms.gle/xbgbpUUgDL6kYE3F8>（右記QRコードも同じです）
または、企業名、所属、氏名、メールアドレス、電話番号を
下記お問い合わせ先までご連絡ください。



- 主催 東信州次世代産業振興協議会、一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター、上田信用金庫

■お問合せ 東信州次世代産業振興協議会 事務局 上田市 前沢
TEL/0268-21-4377 FAX/0268-21-4382 Mail/higashishinshu-ngic@arecplaza.jp

東信州DX大学とは

- デジタル人材の不足に対応するため、地域として企業の社員を育成し、地域企業のDX推進を強力に支援するための取組。
- 地域企業の社員等を対象に、地域企業・大学等が講師となり、データやテクノロジーを使いこなせる人材を育成するカリキュラムを整備し、当地域ならではのDX人材育成研修プログラムの構築を目指す。
- また、それぞれの企業・大学等有するDX技術やDXサービスなどを学び合う場とすることで、より実践的なDX人材育成に資する。

【第一部】 東信州DX大学 開講キックオフ

14:00~15:00

14:00 あいさつ・講師陣の紹介

上田市産業振興部長 北沢健治氏

14:05 県内企業のDX取組状況の概要

長野県産業振興機構産業DXコーディネータ 西村元男氏

14:25 東信州DX大学事業の詳細説明

ARECアドバイザー 藤本理弘氏

(「DXレポート2.2」(経済産業省)について解説、今後の研修予定の説明を含む)

【第二部】 DXセミナー「ChatGPTの活用を考える」

15:15~16:00

今話題のChatGPTについて、その有用性や使い方、ビジネスの場面での利用方法などの紹介、一方で、情報の正確性や個人情報の保護などの問題点も指摘されており、今後どのように向き合っていけば良いか、登壇者及び参加者でディスカッションします。

登壇者：藤本理弘氏、西村元男氏、滝沢一秀氏

16:00 会場にて交流会(コーヒーブレイク)



講師・パネラーの紹介



藤本 理弘氏 ARECアドバイザー/NEXT RESERVATION株式会社取締役/長野大学非常勤講師

神奈川県藤沢市出身。横浜市のIT企業に約11年間勤務し、SEとして業務アプリや組み込みシステムなどの開発、自社製品マーケティング、情報セキュリティなどに従事。その後、大学院にて地域情報化政策や地域産業を研究し、博士(地域政策学)を取得。大学等で講師として携わる一方、2017年に長野大学の学生が創業したIT企業、NEXT RESERVATIONを顧問として支援。2021年に同社の法人化に伴い、取締役として就任。2019年に本格的に上田市に拠点を移す。2023年1月にARECアドバイザーに就任。現在、長野大学非常勤講師。

西村 元男氏 デジタルデマンド株式会社代表取締役/長野県産業振興機構産業DXコーディネータ

信州大学工学部にて物質工学を専攻。株式会社アイ・オー・データ機器(金沢市)にサポート技術者として勤務し、帰郷後は株式会社電算(長野市)にインフラ技術者として10年間勤務。平成30年4月に独立し、デジタルデマンド株式会社代表取締役就任。平成31年4月より公益財団法人長野県中小企業振興センター(AI・IoT等先端技術利活用支援拠点・長野県IoT推進ラボ)AI・IoT活用コーディネーターを受嘱(非常勤)。令和3年4月からは、公益財団法人長野県テクノ財団(信州ITバレー推進室)に移籍し、引き続き非常勤のAI・IoT活用コーディネーターとしても活動。令和4年4月からは、長野県中小企業振興センターと長野県テクノ財団が合併して発足した、公益財団法人長野県産業振興機構にて産業DXコーディネーター(非常勤)、長野県安曇野市スマート自治体推進アドバイザー(非常勤)としても活動。情報処理安全確保支援士(登録第000554号)、マイクrosoft認定技術者、ソフォス認定アーキテクト、IoTプロフェッショナル、ITコーディネータ(認定9030442021C)ほか。IPA(独立行政法人情報処理推進機構)セキュリティプレゼンターとしても活動。



滝沢 一秀氏 AREC産学連携コーディネータ

長野県上田市出身。1985年総合エレクトロニクスメーカー入社。購買部門で情報機器用部材のバイヤーとして、コストダウン・JIT調達・取引先管理等の業務に従事。その後、海外製造拠点の購買部門に駐在を皮切りに、本社にて調達戦略・システム企画、CSR調達業務等を推進、フィールド・イノベーション部門(営業支援)にて、購買・調達をはじめとする業務システムの導入をご検討のお客様とともに、現状業務可視化と業務課題整理、業務変革のための施策を立案を実施。2010年シンクタンク子会社へ出向。製造業のコンサルティング部門にて、製造業における業務プロセス改革を支援。主に、自動車および自動車部品、電気機器メーカー様の購買業務関連のコンサルティングを実施。2017年から浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)産学連携コーディネータ。また同年長野県上田市にて、地域・地元根ざした「みんなのためのコンサルティング会社」秀プロデュース株式会社を設立